

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	新エネルギー普及推進事業		
事業担当	環境部 環境政策課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'03	③〈循環型社会〉循環型社会をめざして環境負荷の少ない暮らし方を定着させる	
	'03	3 環境負荷の少ないエネルギー利用を進める	
根拠法令等	平塚市環境にやさしい生活スタイル推進事業補助金交付要綱		
対象・受益者	市民	事業期間	～ 平成27年度
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
公共施設や住宅等において太陽光発電システム等が導入され、温室効果ガスや化石燃料の消費量が削減されています。		新エネルギーの利用促進のため、環境基本計画等に基づき公共施設へ太陽光発電システムの導入を推進するとともに、市民が家庭に設置する家庭用燃料電池について助成します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	補助制度周知手段数(平成27年度から)			単位	件
	説明・算定式	広報ひらつか、各種イベントでのPR、ホームページ				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績			3		
活動指標②	指標名	新たに太陽光発電システムを設置した公共施設数			単位	施設
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	2	2	1		
成果指標①	指標名	エネファームを設置した家庭数(平成27年度から)			単位	世帯
	説明・算定式	補助件数				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	2	2	1		
成果指標②	指標名	太陽光発電システムを設置している公共施設による総発電力(累計)			単位	kW
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	110	123	133		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
家庭用燃料電池設置費補助制度について、設置件数は70件ありました。また、公共施設への太陽光発電システムの導入で、市民病院に10kWの太陽光パネルを設置しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	家庭用燃料電池(エネファーム)発売当初価格と比較して、導入費用は下がってきています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	エネルギー効率の高いエネファームの普及が進んだことで、二酸化炭素の排出量抑制につながっています。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	エネファームの導入費用は、1基当たり約140万円です。補助額としては低額です。また、導入費用は年々低下していますので、補助制度の見直しが必要です。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	補助制度の継続について、見直す必要があります。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析				
—				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		システム設置助成及び公共施設への設置	システム設置助成及び公共施設への設置	太陽光発電システムの公共施設設置及び家庭用燃料電池設置助成
財源内訳	国庫支出金	4,617	2,700	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	9,233	7,430	2,100
事業費 (A)		13,850	10,130	2,100
執行率 (%)		86.29	68.68	100.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針	—
課長コメント	—